

H29 年度 隠岐の島町 地域おこし協力隊 年間活動報告書

隠岐の島町役場農林水産課 地域活動員 正木 翔

月別活動内容

10 月 (着任)	サツマイモ収穫(那久、大久) 地域おこし協力隊・集落支援員連絡会 榎なつかしの森、フレッシュファーム神代視察
11 月	サツマイモ収穫(岬) サツマイモ島内・島外出荷 隠岐の島町特産品ほりおこし推進協議会設立総会 組合芋ほり体験 いきいき祭(焼き芋屋台) 大久地区サツマイモ糖度測定会 隠岐地区地域おこし協力隊・集落支援員研修
12 月	サツマイモ「海の絹」ロゴマークデザイン依頼 サツマイモ島内・島外出荷 芋保管施設(那久小学校・大久小学校)清掃
1 月	芋保管施設(那久小学校)清掃 UI ターンフェア用 PR 動画編集 特産品ほりおこし推進協議会 準備
2 月	新規就農者受入体制等整備検討会 特色ある農産物等検討委員会 油井地区集落営農に関する会議 地域おこし協力隊・集落支援員連絡会 サツマイモ販売先加工業者・ニンニク生産者訪問
3 月	特産品ほりおこし推進協議会 会議 新規就農者受入体制等整備検討会 新規就農者・若手就農者交流会

● 活動内容・目的について

隠岐の島町特色ある農産物等検討事業

近年農業において、水稻・米を生産することで得られる収入は減少の一途を辿っている。この中で水稻・米の生産を継続できる農家が減少し、休耕田、耕作放棄地の増加が問題となっている。休耕田、耕作放棄地の解消と農家の所得向上を目指すにあたり、隠岐の島町の気候・土壌条件に適した水稻に代わる高収益の作物の「試験栽培・販売・普及」を目的とし隠岐の島町特色ある農産物等検討事業として行っている。

取り扱い作物

- トマトベリー
- そば
- 白小豆
- クロモジ
- アカメガシワ
- ミツマタ
- キウイフルーツ
- サツマイモ

サツマイモ

これらの事業の中で今年度私が携わったものはサツマイモ（紅はるか・シルクスイート）事業である。

本町サツマイモ事業は、島根県飯石郡飯南町の株式会社なつかしの森の協力のもと行われている。㈱なつかしの森では八年ほど前から高糖度のサツマイモの栽培に成功しており、飯南町の森林由来の木質有機を畑の土壌作りに使用し有機栽培・高糖度「森の絹」としてブランド化に成功しており「バナナよりも甘い雪山の天然スイート“森の絹”」の謳い文句で販売中。㈱なつかしの森の例では 18 万円/10a の事業純益が出ている。

隠岐の島町では島の特性として海藻を土壌作りに用いて、ミネラル豊富な「海の絹」としてのブランド化を目指している。

初年度の生産出荷が終了。今年度の芋は大きさ、一株当たりの芋の着き、形、活着率など至らぬ点も多かったが、品質・食味に関しては上出来であったと考える。糖度も高く㈱なつかしの森の芋まであと一步といった所であった。糖度が高くなるのは土地的な条件が強いらしく、収量や芋の着きといった部分を土壌の改良や生産者の技術で㈱なつかしの森の水準に近づければ、本町でも 18 万円/10a の収益を十分に狙えると考えられる。

㈱なつかしの森・フレッシュファーム神代視察について

本町においてサツマイモ事業を行うにあたり、技術指導、苗の手配、生産した芋の総量買い取り、など多岐にわたり支援してくださっている㈱なつかしの森へと視察に赴いた。本町においてサツマイモ事業の目指す所でもある。



本町での水稲栽培は 10a あたり 4 万円程度の事業収益も報告されているが㈱なつかしの森においてはサツマイモで 10a あたり 18 万円程の事業純益を出している。

本町においては未だ栽培一年目で規模も小さく㈱なつかしの森の様に高収益を出せてはいない。一先ず目安として基準になる水稲の反収を来年度はぜひ超えたい。

役場職員組合芋ほり体験について

子供らが農作業の体験として芋ほり体験を行った。後半少し飽きが見えてきた子供も見受けられたが、基本的には楽しんでおられたようだった。



芋に限らなくともよいが、「植え付け～収穫」の中間の作業はともかく、「植える・収穫する」のパッケージ化されたものを作り、農業体験として、本町での小中高生に向けた

「教育」に活用する。または体験型観光としての「産業」にするといったことも考えられる。

隠岐地区地域おこし協力隊・集落支援員研修について

11 月の研修には参加できたが、出張が重なり 2 月の分には参加できず非常に残念に思う。隠岐 4 島の協力隊・支援員の研修という事で同じような立場の人間が一堂に会し交流を持つというのは非常に有意義である。

活動の中で関わることもあるので顔繋ぎの意味だけでも出席する価値はあると考える。



サツマイモ販売先加工業者・ニンニク生産者訪問

島根県松江市八束町江島ではもともとの主要作物として「ハマボウフウ」を栽培しており、五年前よりニンニクの栽培、黒ニンニクの加工・販売で収益を上げている。他にも本町と同じ品種であるサツマイモ「紅はるか」を栽培しており、本町でニンニク栽培は土壌から見て十分に可能であると考える。



さらに、土作りに海藻を使用していることもあって「海も山もあり資源に恵まれた隠岐の環境が羨ましい、栽培に向いているはずだ」と語っておられた。

ハマボウフウはハウス栽培、黒ニンニクは加工機械、種代、と高収益作物にはやはりそれだけの経費が掛かっている。本町ではさらに輸送コストと船便のために即時性に欠けることを考慮する必要がある。

次年度に向けて・所感

10月に着任し半年がたち、初年度が終了しました。着任すぐの時期が丁度サツマイモ収穫開始時期で、そこから半年サツマイモを中心に収穫、保管、発送、会計等の活動をしてきました。来年度はサツマイモ事業に加えてソバ・白小豆事業等、特色ある農産物等検討事業の作物全般に携わることとなります。少しでも本町の農業に対して役に立てるように頑張っていく所存です。